

# Leading SAFe®

SAFeを通じてリーンアジャイルマインドセットを適用する

世界中で求められているスキルセットを習得して、SAFe® Agilist (SA) になることで、企業が変化の激しい市場で成功するための支援が可能に。

この2日間のコースでは、Scaled Agile Framework® (SAFe®) およびリーン、システム思考、アジャイル開発、プロダクト開発フロー、DevOpsから派生した基盤となる原則を活用して、リーンアジャイル企業をリードするために必要な知識を得ることができます。また、PIプランニングイベントのサポートと実行、複数のアジャイルリリーストレイン (ART) 間の調整に必要なスキルも学習および実習します。

このコースを通じて、適応しなければ生き残れない今日の市場においてリーンアジャイルマインドセットが非常に効果的な理由や、リーンアジャイルトランスフォーメーションをリードする上でこのマインドセットが持つ意味を理解できます。また、アジャイルチームおよびプログラムの構築とサポート、リーンポートフォリオの促進、継続的デリバリーパイプラインとDevOpsの文化の構築、大規模ソリューションの調整方法に関する知識も得られます。世界中で求められているスキルセットを習得して、SAFe® Agilist (SA) になることで、企業が変化の激しい市場で成功するための支援が可能になります。

SAFe® Agilist (SA) 6.0認定試験付き



# Leading SAFe®

SAFe® Agilist (SA) 6.0認定試験付き



## 対象者

このコースの対象者は以下のとおりです。

- エグゼクティブ、リーダー、マネージャー、ディレクター、CIO、VP
- 開発マネジメント、QAマネジメント、インフラストラクチャマネジメント
- プログラムマネージャー、プロジェクトマネージャー
- プロダクトマネジメント、プロダクトラインマネジメント
- ポートフォリオマネージャー、PMO、プロセスリード
- エンタープライズアーキテクト、システムアーキテクト、ソリューションアーキテクト

## リーンアジャイルマインドセットの育成

SAFe Agilist (SA) として、企業にリーンアジャイルの文化を取り入れて成功させ、継続的に改善するための戦略的な支援を行います。

組織のミッションとビジョンを定義し、すべてのステークホルダーとチームに戦略的意思決定と変革の必要性を伝える手助けをします。

さらに、ナレッジワーカーの意欲を高めるため、彼らの能力を高めると同時に、企業のミッションとビジョンに対するエンゲージメントとコミットメントが促進されるような方法で、スキルとキャリアを開発する支援を行います。

## 学習内容

SAFe® Agilist (SA) の役割を果たすには、以下の能力が求められます。

- SAFeの基本的な構成と実装ロードマップのステップを説明する
- リーンアジャイルマインドセットのバリューと原則を適用する
- SAFeのリーンとアジャイルの原則をSAFeの役割と実践に適用する
- ミッションと目的を確立してハイパフォーマンスチームを作成する
- トランスフォーメーションのリーダーシップを発揮して変革を牽引し、人材を育成し、イノベーションを推進する
- PIプランニングとイベントをサポートする
- 継続的デリバリーパイプラインを通じて継続的なバリューのデリバリーを推進する
- 戦略テーマのベクトル合わせと実行をリーンポートフォリオマネジメントで確立する
- ソリューショントレインで、複数のアジャイルリリーストレインとサプライヤーを調整する



[We] had been to a Leading SAFe training, and once you see that big picture, your eyes start lighting up. It's a powerful story how the Program layer aligns with Scrum teams. We knew that SAFe was something that would work for us at Fitbit.” ((私たちも) Leading SAFeトレーニングを受講したことがあります。ビッグピクチャーを見ると、皆は興奮しはじめます。プログラムレイヤーとスクラムチームの足並みを揃える手法は、非常に説得力のある学びとなります。SAFeがFitbitに貢献してくれることを確信しました)

— Damian Brown氏、プログラムマネジメントオフィスシニアディレクター、Fitbit社



## 取り扱いテーマ

- Scaled Agile Frameworkの概要を紹介する
- リーンアジャイルマインドセットを身につける
- SAFe原則について理解する
- ハイパフォーマンスチームとプログラムを作成する
- プランニングインターバル (PI) プランニングを体験する
- バリューを探求、実行、リリースする
- リーンアジャイルエンタープライズをリードする
- リーンポートフォリオを推進する
- 大規模ソリューションを構築する

## 提供されるもの

クラスへの受講登録により以下のものが提供されます。

- 受講者向けワークブック
- SAFe® Agilist (SA) 6.0 認定試験の準備と受験資格
- SAFe Studioの1年間のメンバーシップ
- コースの修了証明書

受講者は、受験資格を得るために2日間のコースを2日とも受講する必要があります。

## Professional Development Unit (PDU) とScrum Education Unit (SEU)

- プロジェクトマネジメント協会 (PMI) の提供するPMP、PgMP、PMI-ACPの認定取得に向けた継続教育要件を満たすために、15単位のPDUをPMIに申請可能
- Scrum Allianceを通じたCSPの取得または更新に向けて、カテゴリCのSEUを申請可能

## 前提条件

このコースは、経験の有無にかかわらず、どなたでも参加可能です。ただし、SAFe® Agilist (SA) 6.0認定試験を受験する予定がある場合、以下の受講要件を満たしていることをお勧めします。

- ソフトウェア開発、テスト、ビジネスアナリスト、プロダクトまたはプロジェクトマネジメントにおける5年以上の経験
- スクラムの経験

# SAFe® カリキュラム

幅広い内容を扱い、進化を続けるScaled Agileのカリキュラムは、SAFeの実装を成功させる上での基礎であり、トランスフォーメーション全体の要となります。世界クラスのコースウェアの豊富なポートフォリオは、組織がビジネスの成果を引き出し、チームを維持し、新しい才能を引き付けるのに役立ちます。そして、需要の高い認定により、個人がSAFe組織内で重要な役割を果たし、フレームワークにおける実践、コンサルティング、または他者へのトレーニングを通じてキャリアを進展させることができます。



## SAFeの認定試験付きトレーニングコース一覧

- **Implementing SAFe®**  
SAFe® Practice Consultant (SPC) 6.0認定試験付き
- **Leading SAFe®**  
SAFe® Agilist (SA) 6.0認定試験付き
- **SAFe® for Teams**  
SAFe® Practitioner (SP) 6.0認定試験付き
- **SAFe® Scrum Master**  
SAFe® Scrum Master (SSM) 6.0認定試験付き
- **SAFe® Advanced Scrum Master**  
SAFe® Advanced Scrum Master (SASM) 6.0認定試験付き
- **SAFe® Release Train Engineer**  
SAFe® Release Train Engineer (RTE) 6.0認定試験付き
- **SAFe® Product Owner/Product Manager**  
SAFe® Product Owner/Product Manager (POPM) 6.0認定試験付き
- **SAFe® DevOps**  
SAFe® DevOps Practitioner (SDP) 6.0認定試験付き
- **SAFe® for Government**  
SAFe® Government Practitioner (SGP) 5.0認定試験付き
- **Agile Software Engineering**  
SAFe® Agile Software Engineer (ASE) 5.0認定試験付き
- **SAFe® for Architects**  
SAFe® Architect (ARCH) 6.0認定試験付き
- **Lean Portfolio Management**  
SAFe® Lean Portfolio Manager (LPM) 6.0認定試験付き
- **Agile Product Management**  
SAFe® Agile Product Manager (APM) 6.0認定試験付き

→ SAFEキャリアの道のりはここから始まります  
[scaledagile.com/calendar](https://scaledagile.com/calendar)

Work Differently.  
Build the Future.

